

2025年8月5日

各 位

会 社 名 株式会社 セ ッ ク
代表者名 代表取締役社長 櫻 井 伸 太 郎
(コード番号：3741 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 杉 山 寿 顕
(TEL. 03-5491-4770)

リアルタイム膀胱内視鏡検査支援システムの開発・事業化プロジェクトに参画 ～膀胱がんの見落としの防止を AI で支援～

株式会社セック（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：櫻井伸太郎）は、筑波大学発スタートアップの株式会社 Vesica Japan などが進める研究開発課題「膀胱がんの見落としを防ぐリアルタイム膀胱内視鏡検査支援システムの開発・事業化」（2025 年 5 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）に参画します。本研究開発課題は国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の「橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム）」の筑波大学拠点におけるシーズ S2 課題として採択されたものです。

当社の強みである、高度な信頼性が求められるシステムの設計技術である「リアルタイム技術」を適用し、高い安全性や信頼性が求められる医療分野の発展に貢献してまいります。

リアルタイム膀胱内視鏡検査支援システム

本システムは、AI を用いて膀胱がんの内視鏡検査を支援するシステムです。AI で病変の可能性がある部位を推定し、検査中の内視鏡画像にリアルタイムで重ね合わせ表示することで診断を支援します。また、膀胱内の観察済みの範囲を可視化し、くまなく観察できるように支援します。これにより、観察していたのに診断できなかった「見落とし」と観察漏れによる「見逃し」を防ぎ、高い診断精度を実現します。

研究開発課題の推進体制

代表機関の株式会社 Vesica Japan に加えて、株式会社セック、Vesica Corporation（米国）、および筑波大学が本研究開発課題を推進します。

当社の役割

当社は、医療機器であるリアルタイム膀胱内視鏡検査支援システムの研究開発、国内薬事及び米国食品医薬品局（FDA）承認取得のための製品開発プロセスの構築、製品開発プロセスに則った製品プロトタイプの開発を担当します。

「橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム）」

「橋渡し研究プログラム」は、基礎研究から臨床応用までの「橋渡し」の役割を担い、医療分野のイノベーションを促進するための支援事業です。「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」は、「橋渡し研究プログラム」の知見を活用し、大学発の医療系スタートアップを継続的に支援する体制の構築を目的に、令和 5 年度補正予算（基金）の措置により開始されたものです。

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社セック 広報担当

TEL : 03-5491-4770

お問い合わせフォーム : <https://www.sec.co.jp/ja/contact/contact.html>

以上